

メインフレーム向けソフトウェア変更・構成管理ツール

ChangeMan ZMF

ChangeMan ZMF は、メインフレーム向けのソフトウェア変更・構成管理環境を提供します。メインフレームソフトウェアの開発において、開発環境から任意のテスト環境、そして本番環境に移行するまでのプロセスを自動化し、プロセス全体を一元管理します。ChangeMan ZMF は、企業のメインフレーム資産を安全に保護し、また、開発からリリースまでのライフサイクル全体の効率化や生産性の向上に貢献します。

製品の特長

1. メインフレームソフトウェアを確実にかつ迅速に開発、展開

ChangeMan ZMF は、z/OS 環境でソフトウェアの変更を安全かつ効率的に管理できる包括的な変更・構成管理ツールです。メインフレームソフトウェアの開発からリリースまでを自動化、一元管理し、大規模でグローバルに展開するメインフレーム開発の確実でスムーズな進行を統合的にサポートします。ChangeMan ZMF の導入により、企業はメインフレーム資産を保護し、開発者はより少ない時間でより多くの成果をあげることができます。

2. 複数のインターフェイス

開発者は、TSO/ISPF インターフェイスや Windows、Eclipse などのクライアントを利用して、さまざまな変更管理プロセスを実行することができます。

対応しているインターフェイスは以下のとおりです。

- 3270 TSO/ISPF
- Windows Explorer
- RDz/Eclipse
- HTML (Solutions Business Manager 連携)
- 電子メール
- XML (TSO, Batch, COBOL, PLI, Assembler, REXX)

3. 保守管理コストと競合エラーを削減

ChangeMan ZMF は、あらゆるコード変更を管理し、ソースからロードモジュールまでの整合性を確保します。

自動化されたライフサイクルをコードが遷移し、ライフサイクル段階ごとの承認機能でテストをパスしたプログラムのみを本番環境に移行することにより、保守管理コストと競合エラーを削減することができます。

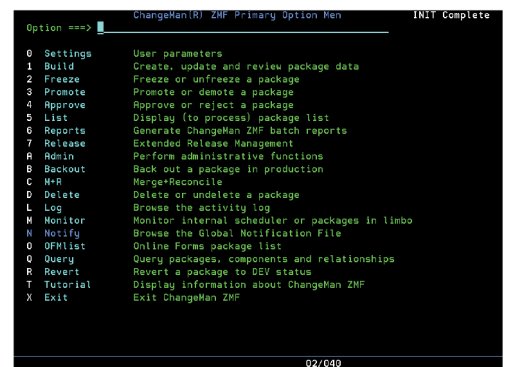
4. 並行開発サポート

ChangeMan ZMF では、並行開発工程の一環として影響分析を行うことができます。メインフレームソフトウェアの開発では複数の開発が同時進行することが一般的であり、並行開発されたシステムの整合性を保つ必要があります。

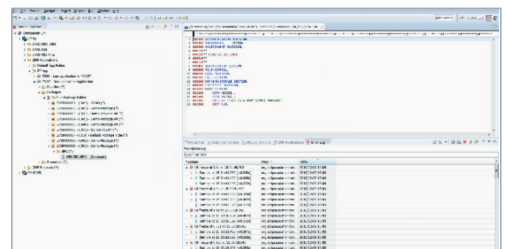
ChangeMan ZMF は、並行開発を行っているパッケージを自動で検出し、また、マージとリコンサイル (M+R) で最大8 方向のファイルマージをサポートします。

5. ライフサイクル全体を通してソフトウェアを適切に管理

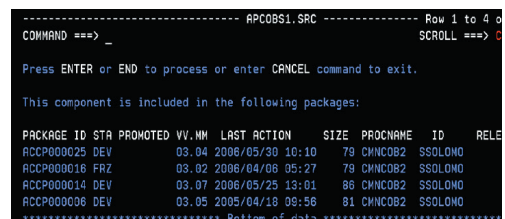
ChangeMan ZMF は、必要な変更項目をパッケージ化し管理するチェンジパッケージの採用により、ソフトウェアのライフサイクルを通して変更全体の整合性を確保します。リリースに問題がある場合は、瞬時に完全なバックアウトが可能です。ChangeMan ZMF を使用すれば、ソースコードが行方不明になることはありません。



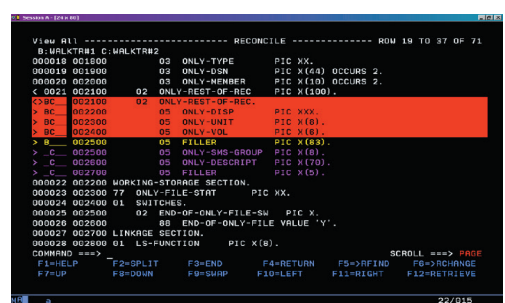
インターフェイス : 3270 TSO/ISPF



インターフェイス : Eclipse



並行開発中のパッケージを自動検出

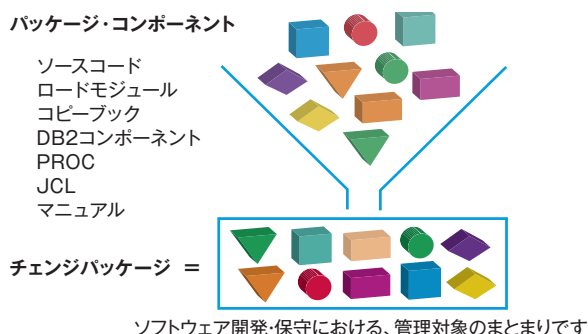


マージとリコンサイル (M+R)

主な機能

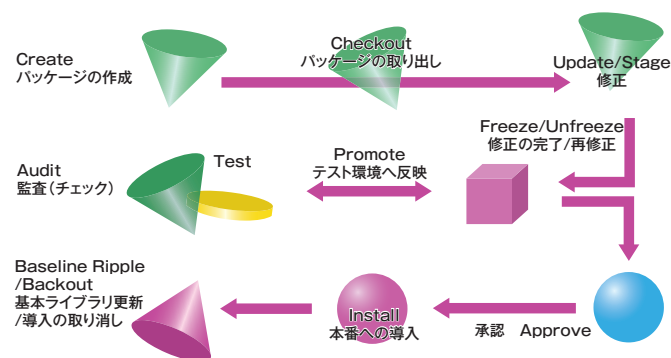
1. チェンジパッケージ

ChangeMan ZMF では、最初の段階で一度の変更に含まれるすべてのコンポーネントをチェンジパッケージとしてグループ化し再利用することで、ソフトウェアのライフサイクルを通して変更全体の整合性を確保します。各チェンジパッケージには、最大で数千ものコンポーネントを含めることができ、開発者は一つのパッケージコマンドで、コンポーネントグループ全体を操作することが可能です。パーマネント、緊急、テンポラリー、シンプル、コンプレックスなど、どのようなタイプの変更に對しても、チェンジパッケージを構築することが出来ます。



2. ライフサイクル

ChangeMan ZMF は、チェンジパッケージの作成から本番環境への導入、バックアウトまでをライフサイクルとして自動化、一元管理することにより、メインフレームソフトウェアの品質の確保とライフサイクル全体の効率化を支援します。ChangeMan ZMF を利用することにより、複数環境での同時並行開発においても、並行開発されているコードの競合が自動的に認識され、並行開発で発生する煩雑な整合性の確認作業を削減します。

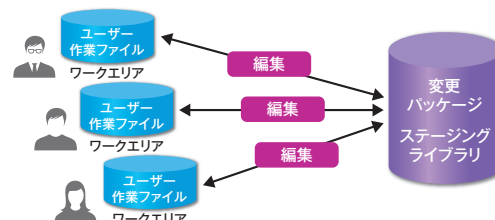


3. Solutions Business Manager + ChangeMan ZMF の連携によるオープン系との統合

ビジネスプロセス管理ツールSolutions Business Manager をフロントエンドとして利用することにより、メインフレーム開発とオープン系開発を同じプロセスで運用できます。それぞれの開発プロセスで発生する不具合や変更をSolutions Business Managerで一元管理し、成果物を自動的に各々のテスト環境、本番環境にデプロイするなど、コラボレーションを強化し、スムーズなプロジェクトの進行を支援します。

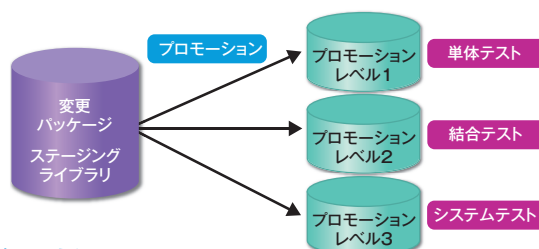
4. ワークエリア

ChangeMan ZMF は、開発者ごとに専用のワークエリアを提供します。各自の占有ワークエリアにより、他の開発者がソースコードをオーバーライトしたり、削除してしまうといった問題を回避します。



5. プロモーション環境の構築

ChangeMan ZMF は、複数のプロモーション環境を構築し、全てのアップデートを管理することができます。複数サイトで開発が行われる大規模なプロジェクトにおいて、非常に柔軟で安全な開発環境を構築し、スムーズな開発環境の運営を支援します。



6. 影響分析

ライブラリー・スキャンやクロス参照による影響分析では、データ・ソースが最新であるという保証がありません。ChangeMan ZMF は、コンポーネントの依存関係を保持しているので、最新データによる影響分析が可能です。影響分析には、以下のコンポーネント等が含まれます。

- ・ソースコード、コピーブック、実行モジュール
- ・プログラム名、サブルーティン名、プロシージャ名
- ・JCL フィールドのデータセット名

7. インストール作業の自動化

ChangeMan ZMF は成果物のインストール作業の自動化が可能です。これには以下のようなメリットがあります。

- ・運用スタッフによる夜間作業が不要
- ・手動による変更プロセスの手順漏れを解消
- ・緊急変更時の手順漏れを解消

関連製品

ChangeMan ZDD (Desktop Developer)

- ・Windows Explorer を通し、メインフレームのリソースにアクセス可能
- ・Solutions Business Manager によるアプリケーションライフサイクルの統合管理が可能

ChangeMan ZMF for Eclipse

- ・Eclipse/RDz からChangeMan ZMF を直接操作
- ・Eclipse プラグインとして機能
- ・Web Application Server を通じてのリアルタイム制御